2026 年 11 月 17 日（火）

報道関係各位
プレスリリース

株式会社SkyDrive

# 豪ゴールドコースト市と「空飛ぶクルマ」導入・エコシステム構築に関する MoU を締結

コンパクトな「空飛ぶクルマ」（※1）の開発・製造・販売を行う株式会社SkyDrive（本社：愛知県豊田市、代表取締役CEO 福澤知浩、以下「SkyDrive」）は、オーストラリアのゴールドコースト市と、空飛ぶクルマの導入および検討に向けた基本合意書（MoU）を締結しました。

本連携により、両者はゴールドコースト市内における「空飛ぶクルマ」の社会受容性の醸成をはじめ、離着陸場（バーティポート）候補地の検討、制度・規制フレームワークの整備など、地域に根ざしたエコシステムの構築と社会実装に向けた取り組みを官民一体で推進してまいります。




ゴールドコースト市にて実施した MoU 調印式の様子
左から、ゴールドコースト市長 トム・テイト（Tom Tate）氏、在オーストラリア日本国大使館 公使 黒宮 貴義 氏、SkyDrive 執行役員 グローバル事業統括責任者 小野 泰司

## ■ 背景と目的

ゴールドコースト市はオーストラリアで 2 番目に大きい地方自治体であり、国内で最も急速に成長している地域の一つで、年間を通じて多くの観光客が訪れる国際的なリゾート都市です。同市は観光経済と先進的な都市開発を重視しており、持続可能な都市交通ビジョン「Legacy 2030」の推進や、2032 年に開催されるブリスベンオリンピック・パラリンピック競技大会を見据え、先進的な交通ソリューションによるアクセス向上と来訪者の観光体験の進化を目指しています。

SkyDrive は、「100 年に一度のモビリティ革命を牽引する」をミッションに掲げ、「日常の移動に空を活用する」未来の実現に向けて、コンパクトな「空飛ぶクルマ」の開発・製造を推進しています。2025 年大阪・関西万博でのデモフライト実施をはじめ（※2）、型式証明（TC）の取得に向け、日本の航空局（JCAB）と事業計画・型式証明方針の合意を完了し、商用運航に必要な認証プロセスの着実な進捗を重ねています（※3）。さらに、スズキグループの工場を活用した量産体制の整備を進め、現在では世界 10 カ国において現地のパートナーや自治体とともに「空飛ぶクルマ」の社会実装に向けたプロジェクトを展開しており、累計 451 機（プレオーダー：371 機、機体購入基本合意：80 機）のオーダーをいただいております。

オーストラリアにおいては、2026 年 8 月に Gold Coast Helitours と「SKYDRIVE（SkyDrive 式 SD-05 型）」5 機の導入に関する LOI を締結しました（※4）。現在、ゴールドコースト空港とマリーナ・ミラージュ等の主要観光拠点を結ぶ航路構想を進めています。本航路の実現により、主要拠点間の移動を大幅に短縮し、快適で持続可能な移動体験の提供を目指します。

こうした民間側での具体的な事業化の動きと、持続可能な交通インフラの強化を目指すゴールドコースト市の将来像が合致したことから、地域行政を担う同市とも正式に MoU を締結する運びとなりました。官民一体となって、地域に根ざした空飛ぶクルマの普及・実証・環境整備を推進してまいります。

## ■ ゴールドコースト市との主な取組・検討事項

SkyDrive とゴールドコースト市は、同地域における空飛ぶクルマの商業的・経済的・地域社会的な価値の検証および基盤整備を目指し、以下の事項を中心に協議・協力を行ってまいります。

1. 社会受容性の醸成：地域住民や観光客に向けた理解促進および啓発活動
2. 制度・規制フレームワークの検討：安全かつスムーズな商用運航に向けたローカルルールの整理・検討
3. インフラ・土地利用の実現可能性調査：サウスポート飛行場等をはじめとする離着陸場（バーティポート）候補地の検討および都市計画データとの連携
4. 運航ルート・安全性の検証: ゴールドコースト市内の観光地や主要交通ハブを結ぶ最適かつ安全な飛行ルートの検証

## ■ 今後の展望

SkyDrive は、ゴールドコースト市や Gold Coast Helitours との連携を通じて、2028 年の商用運航開始およびサウスポート飛行場等を拠点としたネットワーク構築を目指します。さらに、2032 年のブリスベンオリンピック・パラリンピック開催時には、世界中から訪れる来訪者に静粛で持続可能なまったく新しい移動体験を提供し、ゴールドコースト市全体の地域活性化および持続可能な都市モビリティの実現に貢献してまいります。

## ■ 代表コメント

**ゴールドコースト市長　トム・テイト（Tom Tate）氏**

ゴールドコーストでは、持続可能な都市交通と観光における未来を見据えたイノベーションを積極的に後押ししています。空飛ぶクルマはもはや SF の世界ではなく、私たちの目の前にある現実の交通手段です。世界的なパイオニアである SkyDrive 社、そして長年にわたり当地域の航空インフラを支えてきた Gold Coast Helitours 社とともに、この街に新たな空の移動スタイルをもたらす検討を進められることを大変嬉しく思います。2032 年に向けて、地域住民や訪問者の皆様に素晴らしい体験をお届けできるよう、協力して取り組んでまいります。

**株式会社 SkyDrive 代表取締役 CEO 福澤 知浩**

2026 年 8 月の Gold Coast Helitours 様との機体導入に関する LOI 締結に続き、地域行政を担うゴールドコースト市様と MoU を締結できたことを大変光栄に思います。持続可能な観光開発と交通イノベーションに熱心なゴールドコースト市様との連携は、オーストラリアでの空飛ぶクルマ事業化において不可欠なステップです。民間の運航パートナーと行政の双方が足並みを揃えることで、2028 年の運航開始、そして 2032 年の国際大会に向けた受容性向上やインフラ整備を力強く推進してまいります。

※1 空飛ぶクルマとは：電動化、自動化といった航空技術や垂直離着陸などの運航形態によって実現される、利用しやすく持続可能な次世代の空の移動手段です。諸外国では、Advanced Air Mobility（AAM）や Urban Air Mobility（UAM）と呼ばれています。

引用元：国土交通省（令和 8 年 3 月付）https://www.mlit.go.jp/koku/content/001994084.pdf

※2 関連プレスリリース:
SkyDrive、大阪・関西万博でデモフライト開始
https://skydrive.co.jp/news/64782/
吉村府知事、JAXA、関西電力などが見守る中、海上デモフライトを実施
https://skydrive.co.jp/news/65240/

※3 関連プレスリリース:
SkyDrive、型式証明プロセスの中核「全般計画書」について国土交通省と合意
https://skydrive.co.jp/news/69365/

※4 関連プレスリリース：
オーストラリア初となる「空飛ぶクルマ」導入に向け Gold Coast Helitours と LOI を締結
https://skydrive.co.jp/news/71943/

**≪株式会社SkyDrive　概要≫**

| | |
|---|---|
| 設立 | 2018 年 7 月 |
| 代表者 | 代表取締役 CEO　福澤知浩 |
| ＵＲＬ | https://skydrive.co.jp/ |
| 所在地 | 豊田本社：愛知県豊田市挙母町 2-1-1<br>豊田開発センター：愛知県豊田市西中山町山ノ田 20-2<br>豊田テストフィールド：愛知県豊田市足助地区<br>名古屋空港オフィス：愛知県西春日井郡豊山町大字豊場 県営名古屋空港 2F<br>東京オフィス：東京都千代田区平河町 1-3-13 平河町フロントビル 3F<br>大阪オフィス：大阪府大阪市北区梅田 1-3-1-800 大阪駅前第一ビル 8F<br>山口テストフィールド：山口県山口市阿知須 |
| 子会社 | 株式会社 Sky Works：静岡県磐田市<br>SkyDrive America, Inc. ： Beaufort, South Carolina 29902, U.S.A.<br>株式会社 AlterSky：愛知県豊田市 |
| 事業内容 | 「100 年に一度のモビリティ革命を牽引する」をミッションに掲げ、「日常の移動に空を活用する」未来の実現を目指しています。2018 年 7 月の設立以来、愛知県豊田市を主拠点にコンパクトな「空飛ぶクルマ」を開発し、静岡県磐田市のスズキグループ工場で製造を開始しています。官民協議会の構成員として制度設計にも関与し、2020 年には日本初となる公開有人飛行試験に成功、2025 年の大阪・関西万博でのデモフライトを経て、2028 年のサービス開始に向けた取り組みを加速させています。 |

**本件に関するお問い合わせ**

≪株式会社 SkyDrive≫
広報　石井
Tel:090-6389-3584
Email: info@skydrive.co.jp
https://skydrive.co.jp/contact